

第4回・馬町爆撃を語り継ぐ会開催のご案内

今年も余日を残すのみとなりました。皆様にはご機嫌よくお過ごしのことと存じます。本年一月十六日、第一回「馬町爆撃を語る会」開催、二日目以後は「語り継ぐ会」と改称し、皆様の「ご熱心なお力添えで、第三回目で開催できました。誠に有難うございました。

さて、その三回目で、十一月頃に「第4回の開催」とお話いたしました。が、会場に使用させて頂いていた元東山小学校が、来年度から京都市立白河総合養護学校分校となる工事の関係で、同封別紙の日に変更することになりました。ご了承いただきたく存じます。

その四回目は、本年同様、六八年前、爆弾が落とされた日に被爆した地、旧修道小学校で、爆撃でお亡くなりになった被爆者の方々への慰霊のお気持ちを重ねて開催いたしたいと存じます。

あの爆撃は、京都市で最初と言っただけでなく、三月十日の東京大空襲、同十五日の大阪大空襲より二ヶ月ほど前に有りました。

沖縄も無傷、広島、長崎も昔のままの日でした。当日の京都の風向き風速次第では、僅かしか離れていない、今や世界遺産の清水寺、モット近い妙法院、智積院、博物館が爆弾で破壊されたかもしれせん。

戦時中は、軍の緘口令。戦後は、アメリカの「京都の歴史的価値で、目標から除外」の情報が流され爆撃は隠され、日本中がその情報を鵜呑みにしてしまいました。その意味で馬町爆撃の被害は他と比べて極小さいものですが、大きな教訓を含んでいると思います。

歴史に「もし」はないと言われていますが、「もし」を伝えるか、伝えないかで大きな差が出ることを、東日本大震災は教えてくれました。

馬町爆撃を「もし」として、子々孫々に伝え継ぐことが極めて大切だと思います。

そのために私達は、被爆された方々の慰霊と、爆撃の事実を「語り継ぐ」ために、本年と同様、その日、その場所で「集まり」を開催いたします。厳寒の時期ですが、是非、多くの方々にお声かけを賜り、共にご参加を戴きますようお願い申し上げます。

平成二十四年十二月二十五日

馬町爆撃を語り継ぐ会

会長 濱田健二

第4回・馬町爆撃を語り継ぐ会

開催のご案内

開催日時

・平成25年1月16日(水)
午後6時30分～8時45分

場所

・前回と同場所

元東山小学校図書室

FAX 075-561-3397

(渋谷通東大路東入)

市バス：馬町下車・東1分



爆撃をした飛行機と同型B29



爆撃の直近地にある
清水寺



被爆した京都女専
(現京女大)校舎

会の次第

1：会長挨拶

馬町爆撃の犠牲者追悼黙祷

2：現在までの経過報告

3：参加の方々のご発言

4：「モニユメント設置」と

今後の「会運営について」

5：その他

平成24年12月25日

馬町爆撃を語り継ぐ会

会長 濱田健二

修道自治連合会会長

事務担当世話役

酒谷義郎

お願い

集会では、出来るだけ多くの方のご発言を頂きたいと思っています。

爆撃当時のことをご存知の方。

些細なことでも構いません。お尋ねに

参上しますのでお知らせください。

当時の資料や写真をお持ちの方は

ご提供ください。

資料などの録音テープを文にPCで文に

起こす作業能力不足で困っています。

ご協力くださる方(無償)を探しています。

います。

この会のことをご近所やお知り合い

にお話ください。

お問い合わせ先

元東山小学校 FAX 075-561-3397

又は、事務担当世話役 酒谷義郎

FAX 075-561-9821... 075-561-7974...

電話は営業用です。出来るだけFAX又はEメールを

ご利用ください。電話番号をご記入くだされば、後

ほど当方からお電話をお入れします。

2012年7月25日現在

第3回：馬町爆撃を語り継ぐ会： 参考資料 京都空襲に関する出版物

書名：かくされた空襲 著者：(編集者)京都空襲を記録する会(編)
出版社：汐文社 京都市下京区七条河原町西南角
発行年月日：1974年(昭和49年4月20日初版発行)
参考事項：死亡者の氏名年齢記載有り
京都府立総合資料館。京都市中央図書館

書名：日本の空襲(六)近畿編 著者：日本の空襲編集委員会・第六巻責任編
集君本昌久
出版社：(株)三省堂
発行年月日：1980年(昭和55年4月15日初版)
参考事項：京都府全域の空襲の詳細、被害一覧表あり

書名：語り伝える京都の戦争(2)京都空襲
著者：久津間保治【京都新聞社編集委員兼論説委員】
出版社：KKかもがわ出版
発行年月日：1996年(平成8年10月25日第一刷出版)
参考事項：1995年4月～1995年9月15日まで京都新聞連載の
「防人の詩・銃後編」を加筆訂正のうえまとめられたもの)

書名：日本の古都はなぜ空襲を免れたか
著者：吉田守男 大阪樟蔭女子大学教授
出版社：朝日新聞社(朝日文庫)
発行年月日：2002年(平成14年8月1日初版)
参考事項：

新聞記事コピー 新聞名：毎日新聞 平和をたずねて 広岩近広
京都空襲 古都が震えた日
西陣の街襲ったB29 語り部のイチョウ大樹
消えない怒りと恐怖 情報統制で周知度低く
政治 判断で原爆落とさず
提供者 京都へ疎開していた7福田輝彦様

書籍部分コピー：高山義三氏著「わが八十年の回顧」戦時中の思い出
P133 京都で唯一の被爆地となる
提供者 京都へ疎開していた7福田輝彦様
元上馬町住人 松浦様

：史料京都の歴史10：東山区修道学区
P467 63 京都女子学園五十で小史：抜粋

：決戦非常日記：須賀高賢 当時東山中学校長
提供者 元修道学区住人 富田 元本は不明

写真データー：馬町爆撃被爆現場 記録写真：14枚